

# 河川分科会 <中期的な展望に立った今後の治水対策のあり方について>

## 今後の治水対策に関する基本的な考え方

### ○今後の治水対策の基本的方向

- ・ **達成すべき目標の明確化**  
⇒どのような場所をどの程度の安全度で守るのかという達成すべき目標を明確化し、具体的な事業実施箇所、実施内容等を明示した中期的な事業実施計画を策定
- ・ **地球温暖化等の新たな要因による災害リスク増大への対応**  
⇒地球温暖化に伴う気候変動による海面上昇や集中豪雨の激化等の災害リスクの増大に対応するため、思い切った事業の重点化や多様な治水手法の選択等を図る。
- ・ **土地利用を視野に入れた治水対策の推進**  
⇒浸水常襲地域等において、被害に遭いにくい土地利用・住まい方に転換を図るため、まちづくりと連動した被害最小化策を推進する。
- ・ **ハード整備と一体となったソフト施策による安全の確保**  
⇒ハード整備を補完するため、ハザードマップの作成、土砂災害警戒情報の情報提供等のソフト対策を実施し、可能な限り安全の確保に努める。

### ○今後の治水対策において重点化すべき事項とその目標

- ・ **予防対策の重視**  
⇒少なくともあらゆる地域で人的被害を回避・軽減する  
⇒仮に被災したとしても、国民の生活や社会経済活動が深刻なダメージを受けることなく持続可能となるよう守るべき機能を明確化して防御する
- ・ **再度災害防止の徹底**  
⇒被害が発生した地域にて、今後同規模の洪水等が発生した場合でも再び被害を発生させないための対策を早急に進める
- ・ **新たな維持管理システムの構築**
- ・ **河川が本来有する多様性の確保**

### ○国が果たすべき役割の明確化

- ・ 国家的観点から **重要な区域を対象とした予防対策**については、国が直接実施
- ・ 大規模災害発生時の **緊急的な対応及び復旧・復興に当たっては、国が積極的な主体的な役割を果たす**
- ・ 災害対応経験の少ない市町村に対し、的確な活動が実施できるよう財政面のみならず、専門職員の派遣体制の構築及び **技術者育成や研修・訓練を通じた技術力向上**やための支援の充実を図る。

## 主要な施策展開

### ◆災害予防・軽減の視点から

#### ○地域特性を重視した多様な手法の選択

- ・ ハード施設の整備による確実なストックの蓄積
- ・ 地域特性に応じた対策の推進
- ・ 情報提供等ソフト対策の充実による安全の確保
- ・ 危機管理体制・地域防災力の強化
- ・ 土地利用・住まい方の転換
- ・ 安定的な水利用の推進
- ・ 気候変動に関する調査研究の推進

#### ○新たな維持管理システムの構築

- ・ 既存ストックの長寿命化、効率的な維持管理
- ・ ICTなどの新技術の活用

### ◆河川が本来有する多様性の視点から

#### ○自然環境の保全・再生

- ・ 動植物が生息・生育・繁殖する場の再生
- ・ 水・物質循環システムの再生
- ・ 流砂系全体から見た土砂管理

#### ○地域の個性・活力を育む、まちづくり・地域づくりの支援

- ・ 美しい河川空間の再生
- ・ 地域と一体となった取り組みの強化
- ・ 更新期をとらえた河川空間の再生